ATA 191 の仕様

- 物理仕様 （1 ページ）
- 電気的仕様 （2 ページ）
- 環境仕様 （2 ページ）
- 物理インターフェイス （3 ページ）
- 呼び出し音の特性 （3 ページ）
- ソフトウェア仕様 （4 ページ）
- SIP 準拠に関する参照情報 （5 ページ）

物理仕様

表 *1* : 物理仕様

説明	仕様
法規制の遵守	FCC（パート 15 クラス B）、CE、ICES-003、A-Tick 認定、危険物質に関する制限（RoHS）、および UL
電源装置	DC 入力電圧：2.0A で 5V DC 最大電力消費：5W スイッチング タイプ（100 ～ 240V）：自動 電源アダプタ：100 ～ 240V および 50-60 Hz（26 ～ 34 VA）の入力（1.8m のコード）
インジケータ ランプおよび LED	電話 1、電話 2、ネットワーク、問題レポート ツール（PRT）、および電源
ドキュメンテーション	ユーザ ガイド（オンライン） アドミニストレーション ガイド（オンライン） 法令準拠および安全上の注意ガイド（オンライン）

説明	仕様
寸法 （幅 X 高さ X 奥行）	101 X 101 X 28mm（3.98 X 3.98 X 1.10 インチ）
装置重量	153 g（5.40 オンス）

電気的仕様

表 *2:* 電気的仕様

説明	仕様
電源	0.25 ～ 12W（アイドル時/ピーク時）
DC 入力電圧	5.0 VDC（最大 2.0A 時）
電源アダプタ	汎用 AC/DC 約 10.3 X 4.9 X 3.35 cm（約 4.05 X 1.93 X 1.31 インチ） AC 入力の外部電源アダプタの場合、120 g（約 4.23 oz） 1.5 m（約 4.9 フィート）の DC コード 1.8 m（6 フィート）のコード UL/cUL（CE 認定） クラス I アダプタ

環境仕様

表 *3:* 環境仕様

説明	仕様
動作温度	32 ～ 45°C（0 ～ 113°F）
非動作時温度	-13 ～ 70°C（-25 ～ 158°F）
動作湿度	10 ～ 90%（結露しないこと）
保管湿度	10 ～ 90%（結露しないこと）

物理インターフェイス

表 *4*：物理インターフェイス

説明	仕様
イーサネット	RJ-45 コネクタ 1 個、IEEE 802.3 100BaseT 標準
アナログ電話機	RJ-11 FXS 音声ポート 2 個
電源	5 VDC 電源コネクタ

呼び出し音の特性

表 *5*：呼び出し音の特性

説明	仕様
各 RJ-11 FXS ポートのヒント/リング インターフェイス（SLIC）	
呼び出し電圧	70VRMS（通常、バランス呼び出し音のみ）
呼び出し周波数	20 Hz
リング波形	台形（波高因子 1.2 ～ 1.6）
リング負荷	1400 Ω + 40μF
リンガー等価番号（REN）	RJ-11 FXS ポートあたり最大 3 REN
ループ インピーダンス	最大 200 Ω（さらに最大 430 Ω の電話機 DC 抵抗）
オンフック/オフフック特性	
オンフック電圧（ヒント/リング）	-47V
オフフック電流	24 mA（定格）
RJ-11 FXS ポート終端インピーダンス オプション	ATA 191 が提供するマルチ インピーダンスには、北米 SKU 用の 600 Ω、欧州 SKU 用の 900 Ω、オーストラリア SKU 用の 220 Ω（820 Ω || 120nF）などがあります。

ソフトウェア仕様

表 *6:* ソフトウェア仕様（すべてのプロトコル）

説明	仕様
コール プログレス トーン	周期は 2 通り、オン/オフ パルスは 1 通りを設定可能
デュアル トーン マルチ周波数（DTMF）	DTMF トーン検出および生成
ファクス	FAX パススルーおよび T.38 FAX リレー モード。 V34 FAX はパススルー モードがサポートされています。最大 33.6 kb/秒の FAX 送信が成功するかどうかは、ネットワーク条件に加え、ネットワーク条件に対する FAX モデム/FAX 装置の許容度によって決まります。ネットワークでのネットワーク ジッタ、ネットワーク遅延、およびパケット損失率は、ある程度低い必要があります。 ATA 191 は T38 FAX リレー バージョン 0（G3）のみをサポートしています。
回線エコー キャンセレーション	• 各ポートのエコー キャンセラ • エコー長 8 ミリ秒 • 非線形エコー抑制（周波数 300 ～ 2400 Hz の場合、ERL > 28 dB） • コンバージェンス時間 250 ミリ秒 • ERLE = 10 ～ 20 dB • ダブルトーク検出
アウトオブバンド DTMF	SIP の RFC 2833 AVT トーン （注） RFC 2833 とインバンド シグナリングを同時に送信することはできません。
構成	• DHCP（RFC 2131） • 組み込み Web サーバによる Web 設定 • 基本ブート設定（RFC 1350 TFTP プロファイル） • ダイヤル プラン設定 • Cisco Discovery Protocol

説明	仕様
QoS	• サービス クラス（CoS）ビット タギング（802.1P） • タイプ オブ サービス（ToS）ビット タギング
セキュリティ	TFTP 設定ファイルの暗号化
音声コーダ/デコーダ（コーデック）	• G.729A、G.729AB • G.711A-law • G.711μ-law
音声機能	• 音声アクティビティ検出（VAD） • コンフォート ノイズ生成（CNG） • ダイナミック ジッタ バッファ（適応型）
Voice-over-IP（VoIP）プロトコル	SIP（RFC 3261）

SIP 準拠に関する参照情報

RFC 2543 で定義されている SIP の IETTF 定義に関する ATA 191 の準拠状況については、次の URL を参照してください。

http://www.ietf.org/rfc/rfc2543.txt

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。